

講師

齋藤 元紀 (さいとう・もとき)
高千穂大学人間科学部教授、学部長



講演テーマ

思考の危機と危機の思考
——哲学の終わりなき挑戦

略歴

法政大学大学院人文科学研究科修士課程修了。法政大学大学院人文科学研究科博士課程修了。博士(哲学)。2013年より現職。

専門領域及び研究テーマ

哲学・倫理学・思想史。ハイデガーをはじめとする現代哲学・解釈学・現象学・実存哲学の研究。また、環境思想や身体論等の応用哲学・応用倫理学研究にも取り組んでいる。東日本大震災以降は福島を皮切りとして、現在は東京で市民や学生との哲学対話の活動を実践。そのかわり、哲学教育研究も進めている。近年は、東アジア圏および世界各国の哲学研究者との連携構築にも従事している。

主な著書・論文

- ・『存在の解釈学——ハイデガー『存在と時間』の構造・転回・反復』(法政大学出版局、2012年)
- ・『始まりのハイデガー』(共編著、晃洋書房、2015年)
- ・『現代日本の四つの危機』(編著、講談社選書メチエ、2015年)
- ・『21世紀の哲学をひらく——現代思想の最前線への招待』(共編著、ミネルヴァ書房、2016年)
- ・『終わりなきデリダ——ハイデガー、サルトル、レヴィナスとの対話』(共編著、法政大学出版局、2016年)
- ・『ハイデガー事典』(共編、昭和堂、2021年)
- ・『デリダのハイデガー講義を読む』(共著、白水社、近刊)など。

以上